

ロータリー
変化をもたらす

2017-2018年度

■会長 愛宕 彰

■幹事 寺田 祐子

例会日: 金曜日 12:30-13:30

例会場: スカイホテル魚津

第3077回例会

■点鐘・握手

■ロータリーソング「我等の生業」

■ゲスト並びにビジターの紹介

R.I.D.2610 富山第一分区 ガバナー補佐
佐渡 栄寿(さど えいじゅ)さん

■誕生祝い 14日:谷川君 29日:清水君



62歳になりました。昨日免許を更新しましたが、次の5年後に車社会がどう変わっているか不安です。



75歳で後期高齢者になり、医療費負担がこれまでの1割から3割負担になります。皆さんのおかげで、今のところ元気に過ごさせていただいております。

■会長挨拶 愛宕会長

本日は佐渡ガバナー補佐においでいただき、その後下口ガバナー、そして地区大会がありますが、これらを通して世界中のロータリアンが今年度どのような方向性で、何を中心にしていくのかが段々明確になっていくと思います。ロータリーには定款やスローガン等、ロータリーとは何かを示すものがありますが、毎年新しいRI会長のもと、方向性が示されます。そして各ガバナーがRI会長のテーマに関するお話を聴いて、それを基に地区の方針を発表し、また各RC会長がクラブ方針を打ち出すという流れになっています。

下口ガバナーの『クラブのカラーを出そう』という方針は、クラブ毎にカラーがあるのだなと考えていて、面白いことが思い浮かびました。

RI会長が『変化をもたらす』というメッセージを発した時に、世界中のガバナーは自分の地区をどのように導いていくかということの思いながら真剣に話を聴いていると思います。それは、太陽が光を放って、それを受けた惑星のようなガバナーがその光を我々に反射していくということかと思えます。

太陽の光は白っぽいですが、それを反射する時に、地球は青、火星は赤、木星や土星は黄色っぽい白、金星や月は真っ白というように同じ光を受けても反射して見える色が変わっている、これがクラブのカラーなのかなと思います。つまり同じ話を聴いても、それを吸収して実践する時に、それぞれのクラブのカラーが自然に出てくる、一所懸命RCの活動をする時に滲み出てくるのがクラブのカラーだろうなと思います。ロータリーの方針に従って光っていくのがロータリアンだと思いますので、いろいろ個性を出しながら頑張っていくにしてもロータリーの根本精神をいつも踏まえながらやっていかなければと思っております。



■幹事報告 寺田幹事

★ガバナー事務所より

- ・ガバナー公式訪問のご案内
- ・九州北部集中豪雨被害の義捐金のお願い

★その他

- ・イベント共同企画開催のご案内(在来線等対策連絡協議会)
- ・釜山釜一RC故韓氏への弔問(辻君、中島君、川岸君)
- ・クラブ奉仕委員会の開催(於万両)



■7月例会案内

7月28日(金):夜間例会<新年度決起大会> 18:30開会点鐘

[スカイホテル魚津]

■8月例会案内【会員増強・拡大月間】

8月4日(金):ガバナー公式訪問

[スカイホテル魚津]

8月18日(金):会員卓話 坪井君

[スカイホテル魚津]

8月25日(金):魚津西・魚津RC合同夜間例会 18:30開会点鐘

[グランミラージュ]

★7月SAA補助:宮本君・平崎君 よろしくお願ひします。

■出席報告 平崎委員長

本日の出席	欠席者	3075回メークアップ	3075回出席率
19名	11名	2名	86.20%(←79.31%)



■ニコボックス報告 平崎副委員長

★佐渡ガバナー補佐様:

頑張りましょう。

★愛宕君: ガバナー補佐 佐渡様 魚津RCへのご訪問ありがとうございます。本日は宜しくお願ひ致します。

★青山君: 青山内科のHPを一部更新し糖尿病関連の内容を加えました。ご興味のある方は一度「青山内科」と検索してください。

■委員会報告 なし

本日の卓話

R.I.D.2610 富山第一分区 ガバナー補佐 佐渡 栄寿 氏

朝日RCの親クラブは魚津RCで設立に当たり大変お世話になりました。朝日RCは現在24名で、大分世代交代が進んでおります。

私は2000年にRCに入会し17年目ですが、入会のお誘いを2回お断りし、3度目に石材店のお客さまから入れと言われ入りました。

2001年に七尾RCの丸山ガバナーが月誌に書かれた『生き残るものは適応能力が高いものである』というダーウインの進化論の有名な言葉に触れ、我々が事業をしていて生き残るにはどうしたらいいのかということを考えさせられました。

2002年に職業奉仕委員長になり、RI資料で勉強したところ、『最も奉仕をしたものが最も利益を享受する』という言葉を見て、ロータリーの活動とはこういうものだと思いに残りました。

また、2003年頃にロータリー綱領の『職業上の道徳水準を高める』という言葉を見て、ロータリーに対する認識が変わりました。

2003年と2005年に幹事をし、2010年に会長を務めた後、朝日RC50周年の年に3度目の幹事をしました。幹事の1回目は何もわからず、2回目はRCの仕組みが少しわかり、3度目に裏がちよっと見えてきました。今年に入善RCがガバナー補佐を出す予定でしたが、入善RC事務局の建物の取り壊しや会員の激減などから、朝日RCに要請があり、野澤さんの『勉強になるよ』という言葉や、平野さんの『人のつながりができて面白いよ』というお勧めもあり引き受けました。2610地区には9名のガバナー補佐がいますが、昨年からの研修会でお会いすると、いろいろな面白い方がおられます。

RCは奉仕を重要視しますが、我々商売人は先祖を大事にしなければと思っています。お客さまで『神棚の水は女房が替えます』と聞くと、この家は商売的には駄目だろうなと思ひます。あと仏壇の様子を見ると仕事ができるというのはよくあり、先祖というのは仕事柄大事だなと思ひます。

近江商人は非常に商売に長けていますが、商家では何代も続くと必ず道楽者が出ることから、家を維持していくために家訓を作っており、そこには必ず先祖の話が書かれています。武家の家訓も同様です。

何代も続いている商家というのは、自分の力だけでなく、先祖の力に助けられているということをよくわかっていると思ひます。家にしろ事業にしろ引き継がなければならないものがありますが、ロータリーにも必ず意識しなければならないものが、先程からお話した中にいくつかあると思ひます。

